



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 安永
コード番号 7271 URL <http://www.fine-yasunaga.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 安永 暁俊

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長

(氏名) 長谷川 恵一

TEL 0595-24-2122

四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	7,823	6.6	151	616.8	△108	—	△148	—
28年3月期第1四半期	7,338	12.9	21	△9.7	△43	—	△131	—

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △258百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 △313百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	△12.44	—
28年3月期第1四半期	△10.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	—	%	円 銭	
29年3月期第1四半期	31,631	—	9,925	—	31.4	—	829.63	
28年3月期	32,968	—	10,232	—	31.0	—	855.27	

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 9,925百万円 28年3月期 10,231百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	4.00	—	5.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,300	6.1	450	148.8	10	△69.3	△200	—	△16.72
通期	32,800	6.1	750	100.7	450	—	100	—	8.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期1Q	12,938,639 株	28年3月期	12,938,639 株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	975,277 株	28年3月期	975,277 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期1Q	11,963,362 株	28年3月期1Q	11,963,362 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、物価上昇率の低下を主因に実質賃金は上昇基調にあるものの、消費者の節約志向が根強く、個人消費は弱含みで推移しました。又、円高の進行や新興国経済の減速等の影響により製造業の生産活動に依然として弱さが見られるなど、足踏み状態が続いています。

当社グループの主要販売先である自動車業界は、国内では、新車販売が伸び悩む中、円高による輸出環境の悪化等が企業収益の押し下げ要因となりました。海外では、米国市場が堅調さを維持し、新興国市場の一部で持ち直しの兆しが見えるものの、全体の伸びは依然として弱いものとなっています。

このような企業環境下、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高78億23百万円（前年同期比6.6%増加）、営業利益1億51百万円（前年同期比616.8%増加）、経常損失1億8百万円（前年同期は43百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失1億48百万円（前年同期は1億31百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

【エンジン部品事業】

前期において稼働開始したタイ子会社が本格稼働し、販売に加え利益面でも寄与しましたが、グループ全体としては国内及びインドネシアを中心に販売が減少しました。その結果、売上高48億42百万円（前年同期比7.0%減少）、営業利益1億15百万円（前年同期比20.6%増加）となりました。

【機械装置事業】

太陽電池向け検査測定装置の販売が伸びたことにより売上高は増加しましたが、ワイヤソーの採算性悪化等により、利益率は悪化しました。その結果、売上高19億49百万円（前年同期比59.2%増加）、営業損失1億1百万円（前年同期は93百万円の営業損失）となりました。

【環境機器事業】

ディスプレイシステム及び海外向けエアーポンプの販売が増加し、さらに原価低減活動等により利益面でも大幅に良化しました。その結果、売上高9億51百万円（前年同期比16.1%増加）、営業利益1億21百万円（前年同期比253.4%増加）となりました。

【その他の事業】

当セグメントには、運輸事業及びサービス事業を含んでおります。

売上高79百万円（前年同期比8.9%減少）、営業利益13百万円（前年同期比145.5%増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ13億37百万円（前連結会計年度末比4.1%）減少し、316億31百万円となりました。

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産合計は、前連結会計年度末に比べ10億27百万円（前連結会計年度末比6.1%）減少し、158億87百万円となりました。

この減少の主な要因は、現金及び預金の減少4億24百万円や受取手形及び売掛金の減少3億6百万円等によるものであります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産合計は、前連結会計年度末に比べ3億9百万円（前連結会計年度末比1.9%）減少し、157億43百万円となりました。

この減少の主な要因は、有形固定資産の減少9億36百万円や投資その他の資産の増加6億35百万円等によるものであります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債合計は、前連結会計年度末に比べ7億54百万円（前連結会計年度末比5.7%）減少し、125億90百万円となりました。

この減少の主な要因は、未払金の減少3億72百万円や賞与引当金の減少2億40百万円等によるものであります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債合計は、前連結会計年度末に比べ2億76百万円(前連結会計年度末比2.9%)減少し、91億16百万円となりました。

この減少の主な要因は、長期借入金の減少4億44百万円等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ3億6百万円(前連結会計年度末比3.0%)減少し、99億25百万円となりました。

この減少の主な要因は、利益剰余金の減少1億96百万円や為替換算調整勘定の減少85百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期第2四半期(累計)の連結業績予想につきましては、平成28年5月13日に公表した数値から変更しております。詳細につきましては、平成28年8月12日に公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,079	3,654
受取手形及び売掛金	5,352	5,045
電子記録債権	462	376
商品及び製品	973	1,149
仕掛品	3,454	3,467
原材料及び貯蔵品	1,569	1,466
繰延税金資産	72	38
未収入金	262	265
その他	696	428
貸倒引当金	△6	△5
流動資産合計	16,915	15,887
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,407	11,276
減価償却累計額	△6,609	△6,654
建物及び構築物(純額)	4,798	4,622
機械装置及び運搬具	25,873	25,668
減価償却累計額	△21,041	△21,127
機械装置及び運搬具(純額)	4,831	4,541
工具、器具及び備品	5,861	5,813
減価償却累計額	△5,512	△5,455
工具、器具及び備品(純額)	349	357
リース資産	1,997	1,915
減価償却累計額	△169	△214
リース資産(純額)	1,828	1,700
土地	2,283	2,265
建設仮勘定	1,071	739
有形固定資産合計	15,163	14,226
無形固定資産	62	53
投資その他の資産		
投資有価証券	560	490
繰延税金資産	99	171
その他	175	808
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	827	1,463
固定資産合計	16,053	15,743
資産合計	32,968	31,631

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,067	3,989
電子記録債務	327	307
短期借入金	3,100	3,200
1年内返済予定の長期借入金	2,364	2,192
1年内償還予定の社債	220	220
未払金	1,818	1,446
未払法人税等	129	48
賞与引当金	411	170
工事損失引当金	3	3
設備関係支払手形	2	7
その他	899	1,002
流動負債合計	13,344	12,590
固定負債		
社債	770	770
長期借入金	6,380	5,935
リース債務	1,646	1,818
繰延税金負債	43	38
役員退職慰労引当金	38	40
退職給付に係る負債	438	437
資産除去債務	75	75
固定負債合計	9,392	9,116
負債合計	22,736	21,706
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,142	2,142
資本剰余金	2,114	2,114
利益剰余金	6,198	6,002
自己株式	△330	△330
株主資本合計	10,125	9,928
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	174	121
為替換算調整勘定	215	130
退職給付に係る調整累計額	△283	△254
その他の包括利益累計額合計	106	△3
非支配株主持分	0	0
純資産合計	10,232	9,925
負債純資産合計	32,968	31,631

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	7,338	7,823
売上原価	6,432	6,868
売上総利益	905	955
販売費及び一般管理費	884	803
営業利益	21	151
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	0	0
受取賃貸料	5	5
その他	6	11
営業外収益合計	14	18
営業外費用		
支払利息	39	37
為替差損	22	202
減価償却費	16	13
その他	1	24
営業外費用合計	79	278
経常損失(△)	△43	△108
特別損失		
固定資産売却損	-	10
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	10
税金等調整前四半期純損失(△)	△43	△118
法人税、住民税及び事業税	54	44
法人税等調整額	33	△13
法人税等合計	88	30
四半期純損失(△)	△131	△148
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△131	△148

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純損失(△)	△131	△148
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	63	△53
為替換算調整勘定	△183	△85
退職給付に係る調整額	△62	28
その他の包括利益合計	△182	△110
四半期包括利益	△313	△258
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△313	△258
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	エンジン 部品	機械装置	環境機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	5,206	1,224	819	7,250	87	7,338	—	7,338
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	381	—	381	117	499	△499	—
計	5,206	1,605	819	7,632	205	7,837	△499	7,338
セグメント利益又は セグメント損失(△)	96	△93	34	37	5	42	△21	21

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸事業、サービス事業を含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△21百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	エンジン 部品	機械装置	環境機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	4,842	1,949	951	7,743	79	7,823	—	7,823
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	9	0	9	123	132	△132	—
計	4,842	1,958	952	7,753	203	7,956	△132	7,823
セグメント利益又は セグメント損失(△)	115	△101	121	135	13	149	2	151

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸事業、サービス事業を含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額2百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。